

動物看護学

		シラバス(概要)
履修条件	自律学習確認課題提出した者	小動物診療は、ますます高度化し、動物病院においては獣医師のほかに、「診療の補助行為をはじめとする種々の動物医療関連業務」に携わり、かつ飼い主に対する適切な世話や指導を行う動物看護師の重要性が大きくなってきた。単に獣医師の補助的サポートをするだけでなく、獣医師が為せる職域ではない「動物看護学」を学び、職域として確立してきた。動物看護師は、獣医師の業務である診断、処方、手術、予後の判定以外の多岐にわたる業務をこなさねばならない。今回の学び直し「動物看護学」では、新コアカリキュラムのシラバスとして取り上げられた動物看護の概論として動物看護とは何か、対象は何か、職域は何かを学んだ上で動物看護過程について学習する。動物看護技術を身に付ける以前に必要な要素について学び、動物看護技術の一部について修得する。
ユニット		
科目名	動物看護学	
単位		
履修時間	15時間中の12時間	
回数	4回	評価方法
授業形態	対面授業	
作成者		各回の3コマ目に確認小テストを実施し、3回目に確認テストを実施し60%以上を合格とする。
教科書	動物看護コアテキスト 動物看護の基礎5(ファームプレス社)	
参考図書		

コマシラバス				
50分/コマ	コマのテーマ	項目	内容	教材・教具
1	自律学習内容の「振り返り」と確認①	1.シラバスとの関係	自律学習を修了し、確認「振り返り」事項の回答の解説をする。動物看護学の中で、動物看護の基本となる概念を復習する。	
		2.コマ主題	「振り返り」の課題の回答を見ながら確認をする。	
		3.コマ主題細目	自律学習のテキストの中から該当する箇所を拾い出して確認をする。	
		4.コマ主題細目深度	動物看護師の仕事とは何か、を自律学習の中で習得した内容を振り返りながら復習する。受講者の各経歴値による違いをグループワークで発表する。	
		5.次コマとの関係	自律学習の「振り返り」の確認	
2	自律学習内容の「振り返り」と確認①	1.シラバスとの関係	自律学習を修了し、確認「振り返り」事項の回答の解説をする。動物看護学の中で、動物看護の基本となる概念を復習する。	
		2.コマ主題	「振り返り」の課題の回答を見ながら確認をする。	
		3.コマ主題細目	自律学習のテキストの中から該当する箇所を拾い出して確認をする。	
		4.コマ主題細目深度	動物の一生において動物看護の関わりを持つ場面にはどんなステージがあるのか、を確認してみる。看護の対象となる時期は、病気の時だけでなく健康な時には現状を維持し、更なる病気の予防をすること。病気の時には獣医師の補助及び二次的な疾患の発症を予測してそれを予防すること。回復時には、動物の日常生活の自立を助ける。そして回復のない終末期を迎える時には、苦しみのない平和な死を迎えられるように補助が必要になることを知る。死後の動物の体を美しくし、飼い主の悲しみを少しでも無くすことができるよう対応できることも動物看護師の大きな仕事であることを学習する	
		5.次コマとの関係	動物看護師の倫理綱領について知る	
3	動物看護師の倫理綱領	1.シラバスとの関係	動物看護を実行する上で必要な「動物看護師の倫理綱領について」	
		2.コマ主題	倫理とはなにか、綱領とはなにかを知る。	
		3.コマ主題細目	法によって守られないことがない現状の動物看護師にとって倫理綱領はどのような意味を持つのか。また、日本動物看護職協会が制定した内容はどのようなものか、を学ぶ。	
		4.コマ主題細目深度	日本動物看護職協会「動物看護師の倫理綱領」について前文および15条の条文の意味を説き、どのような場面で必要なのか、意味を理解しながら学ぶ。3時間の内容の理解度確認テストを実施する。	
		5.まとめ	まとめと第1回確認小テストの実施。	
4	動物の看護過程展開①	1.シラバスとの関係	動物看護を実践するために必要な、動物の看護過程について学ぶ意味を考える	
		2.コマ主題	なぜ、動物の看護過程を学ぶ必要があるのかを考える	
		3.コマ主題細目	事例を踏まえて、なぜ動物の看護過程を学ぶ必要があるのかを考える。スライド上にある動物に、何かをしてあげたい、と思う心を形にするために必要となる技術が看護過程であることを学ぶ	
		4.コマ主題細目深度	各自がたまたまに、バラバラな手法でこの犬に対応するのではなくある行つての手段手法に従って行動できることが優良で安全な動物の看護につながる。そのため手段として動物の看護過程を知る。まずは現状の動物がどのような状態にあるのか、ということを知ることが必要なので、そのための情報を収集することから開始する。それが看護過程であり、その後の手順について学ぶ。	
		5.次コマとの関係	動物の看護過程について知る意味をよく理解した上で、看護過程について学ぶ	

動物看護学

5	動物の看護過程展開②	1.シラバスとの関係	動物の看護過程とは何か？を知る
		2.コマ主題	動物の看護過程の5つの構成要素について学習する
		3.コマ主題細目	私達が、動物にたいする想いを形にしたい(何かしてあげたい)と思うこと自体が動物看護であると思う。しかし、ただそれだけでは系統立てた対応ができないため、最適で安全な対応ができるようになるための手段として看護過程を学ぶ
		4.コマ主題細目深度	動物看護師が高準化された継続的な内容を実施し、記録に残すことができる方法として採用されているのが、看護過程ということになる。看護過程では、アセスメントすなわち個々の動物に対して体系的な情報を収集し、それを整理して分類判断をすることから始まる。良質がアセスメントができることが効果的な看護過程を作成し、看護展開ができることになることを実感できるように学ぶ
		5.次コマとの関係	当コマで動物の看護過程の手順を知り、次コマで各項目についての詳細を知る
6	動物の看護過程展開③	1.シラバスとの関係	動物の看護過程;展開を学ぶ(アセスメントと観察力)
		2.コマ主題	5つの構成要素について。アセスメントとは何か、を知る。実施する際に活用するSOAPモデルについて学ぶ
		3.コマ主題細目	SOAPモデルについて学ぶ事例を見ながら進む
		4.コマ主題細目深度	看護過程を構成する5つの要素とは、アセスメント、看護診断(看護問題の明確化)、計画、実施、評価。看護過程の基本は情報収集するための観察から始まる。様々な場面から対象となる動物に関する情報を集積する練習ができる。3時間の内容理解度を確認のために確認テストを実施する。
		5.まとめ	動物看護過程のまとめ。第2回確認小テストの実施。
7	動物看護の技術①	1.シラバスとの関係	動物を観察する技術、記録・報告と記録の技術について知る
		2.コマ主題	動物看護の基本である観察する技術について知る。
		3.コマ主題細目	動物の姿全体を観察することにより、健康なのか異常があるのかを見極めアセスメントにつなげ、情報を得る。
		4.コマ主題細目深度	情報の分析は、関連する情報を組織だてて集め、その意味を考えていく。全体像の把握をし、確実な分析のために求められることを学ぶ。情報を記録する技術を知る。
		5.次コマとの関係	保定の技術について知る
8	動物看護の技術②	1.シラバスとの関係	安全な診療のために必要な保定について学ぶ
		2.コマ主題	「いま何をしているのか、必要なことはなにか」を知って動物に必要な姿勢を友好的な方法で伝える。
		3.コマ主題細目	言葉を話すことができない動物と良好な関係性を保つために必要な保定の技術について学ぶ。
		4.コマ主題細目深度	動物の安全を守り、突発的な予期しない動きを予防する保定やハンドリングの必要性を学ぶ。
		5.次コマとの関係	投薬を助ける技術について学ぶ
9	動物看護の技術③	1.シラバスとの関係	投薬を助ける技術について知る
		2.コマ主題	獣医師が処方した薬を正確に安全に投与する技術
		3.コマ主題細目	出来る限り正確で安全に投与できるよう工夫を伴った技術を学ぶ。
		4.コマ主題細目深度	薬のパッケージにある情報を読み取ること、薬剤の形を知ること、投与の容量、力価について知る。投与量の計算と確認方法について知る。3時間の理解度を確認するための確認テストを実施する。
		5.まとめ	看護技術のまとめと第3回確認小テストの実施。

動物看護学

10	動物の看護技術④	1.シラバスとの関係	死の看取りに必要な技術
		2.コマ主題	動物が死亡する前後の対応法、飼い主への対応法について学ぶ。
		3.コマ主題細目	動物の死期がわかった時の対応、動物を無くした飼い主への対応、病院で死亡した動物を返すまでの配慮について学ぶ。
		4.コマ主題細目 深度	さまざまなパターンで亡くなった動物に対する動物看護師として必要な対応法、飼い主への配慮や対応法について知る。
		5.次コマとの関係	動物看護過程と技術についてのまとめ
11	動物の看護過程展開;復習	1.シラバスとの関係	動物看護を実践するために必要な、動物の看護過程について復習する
		2.コマ主題	なぜ、動物の看護過程を学ぶ必要があるのかを考える
		3.コマ主題細目	事例を踏まえて、なぜ動物の看護過程を学ぶ必要があるのかを考える。スライド上にある動物に、何かをしてあげたい、と思う心を形にするために必要となる技術が看護過程であることを学ぶ
		4.コマ主題細目 深度	各目がただ単に、ハフハフな手法でこの犬に対応するのではなくある行つての手段手法に従って行動できることが優良で安全な動物の看護につながる。そのため手段として動物の看護過程を知る。まずは現状の動物がどのような状態にあるのか、ということを知ることが必要なので、そのため情報を収集することから開始する。それが看護過程であり、その後の手順についても学ぶ
		5.次コマとの関係	動物の看護過程について知る意味をよく理解した上で、看護過程について学ぶ
12	復習とまとめ:対面授業理解度確認テストの実施	1.シラバスとの関係	最終のまとめと復習
		2.コマ主題	動物看護とは何か、動物看護過程とは何か、動物看護技術についてのまとめ。
		3.コマ主題細目	動物看護師に必要な技術として、まとめる。看護過程を活用した看護、動物と飼い主の立場に立って接することができる動物看護師とは。最期に遭遇した時の動物看護師の姿勢と立場について。
		4.コマ主題細目 深度	
		5.対面授業理解度確認テスト	最終確認テストを実施する。